

昭和四十五年二月二日

九一A B C D

トヨタ ニューコロナを発表

あわせてコロナマークIIもマイナーチェンジ

トヨタ自動車販売(株)は二月二日、コロナをフルモデルチェンジし、あわせてコロナマークIIのマイナーチェンジも行なつて、二月十日より全国一斉に新発売する。

このコロナは、連続三三ヵ月ベストセラーの記録をつくり、四十二年十一月には、わが国で初めてのミリオンセラーの実績を築くなど、四十三年九月に発売されたコロナマークIIとともに、わが国モータリゼーションの発展に大きな功績を残してきた、世界でも有数の規模を誇る量産車である。このたびのフルモデルチェンジは、スタイルの一新と高速時代に合わせた性能の向上を主眼とした五年半ぶりのフルモデルチェンジである。

ニューコロナ乗用車シリーズは、従来の一五〇〇cc、七七馬力エンジンに改良を加え、さらに従来マークIIに搭載の一六〇〇cc、八五馬力と一〇〇馬力の二種類のエンジンを追加し、一五〇〇、一五〇〇デラックス、一六〇〇デラックス、一六〇〇SLの四種類の基本車種がある。

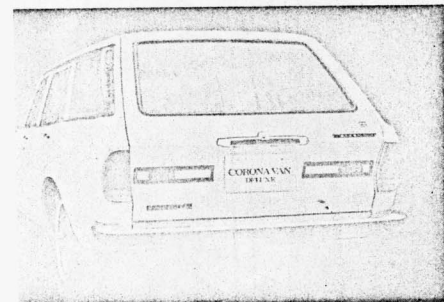
また、多様化する消費者の好みに対応するため、ミツシヨン、装備などの組み合わせにも豊富なバラエティをもたせ、さらに新機構として電子制御によるトヨグライド、ブローバイガス還元装置、カーステレオなどを車種に応じてもり込んで、安全性の点、装備の点でも、一九七〇年代のファミリーカーに相応しい、乗る人の身になつて設計された五人乗りセダンである。

商用車シリーズは、全て四ドアとし、一三五〇スタンダードと一五〇〇デラックス(三段コラム・四段フロアシフト)の二車種三基本車型である。車幅の拡大とカーブドガラスの採用により、荷室奥行で四五ミリ、荷室幅で六五ミリ大きくして、実用性と居住性の向上をはかつた。

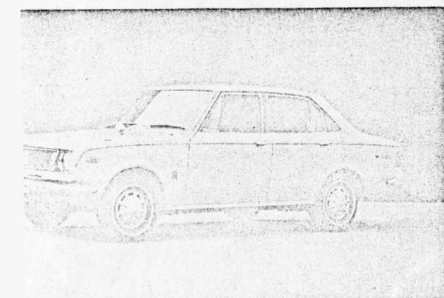
このコロナのフルモデルチェンジに対し、コロナマークIIも、エンジンのパワーアップと、フロントおよびリヤスタイルの意匠変更を中心としたマイナーチェンジと車種体系の拡充を行なつた。一六〇〇系はパワーアップして一七〇〇系とし(ただし、営業車は一六〇〇cc)、従来の一九〇〇



コロナ 1600 デラックス (RT82-D)



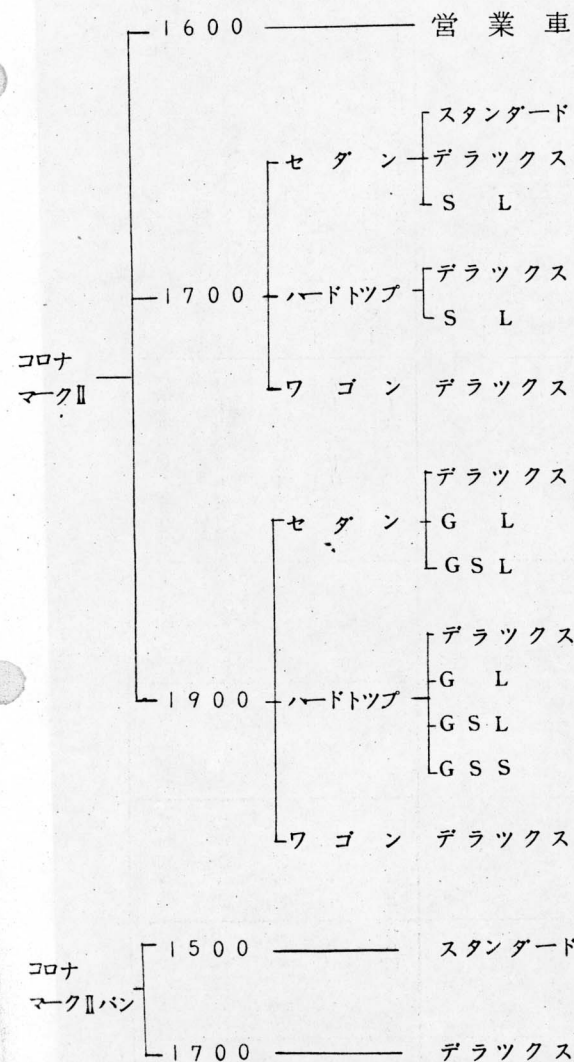
コロナ バン デラックス (RT86V-D)



コロナ「マークII」 1900 GL (RT62-K)

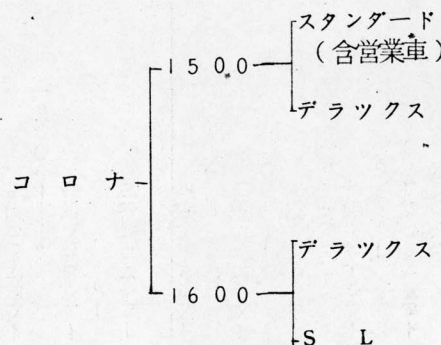
<新型マークⅡシリーズ>

車名 排気量 ボデータイプ 車種



<ニューコロナ・シリーズ>

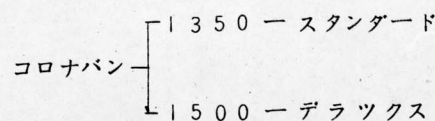
車名 排気量 車種



一、車種体系

系はより一層ハイグレードにしてGシリーズとするとともに、セダンには新たに一ル〇〇G S Lを追加した。さらに、セダン、ハードトップ、ワゴンに経済的な一ル〇〇デラックスを新設した。また、マークⅡ商用車シリーズについて、デラックスが「セ〇〇cc」にパワーアップされ、三段コラムシフトに加えて四段フロアシフトが新設された。なお、スタンダードは、従来どおり「五〇〇cc (ただし、ニューコロナ一五〇〇系と同じく改良されたエンジンを搭載)」。これによりコロナシリーズは、乗用車だけでも車型数でニューコロナ五四、新型マークⅡ一五三となり、また塗色、タイヤのオプション (任意仕様) を加えると、ニューコロナ三〇六種類、新型マークⅡ八一八種類と一層充実したワイドセレクション体制となった。

なお、コロナシリーズの販売目標は、輸出を含めて当初六万台 (ニューコロナ三万台、新型マークⅡ三万台) の予定である。



あわせて発表された改良点はつぎのとおりである。

(一) 外観、特にフロントとリヤのデザインを一新した

◎ラジエーター・グリルはABS樹脂製で、彫りの深い近代感覚にあふれたデザインにし、リヤはリヤ・フィニッシュパネルの意匠を変えて豪華な感じをもたせ、細長いランプ類とあいまって、よりスポーティになった。

あわせて、エンブレム、マーク類のデザインを変更・追加した。

(二) 室内、計器盤、ベンチレーション、シート、ステアリングまわりなどのデザインおよび機構を「マークⅡ」に準じ改良した

◎メーターのまわりを木目模様にして、豪華さとスポーティな感じをもたせ、ベンチレーション・ルーバー、ヒーター・コントロール、ラジオ、時計などの変更に合わせてデザインを一新した。

◎室内のベンチレーション・ダクトとルーバーおよびルーフサイド・ベンチレーション・ルーバーを大きく、かつデザインを変更してフレッシュフロー・システムの機能を向上させ、新鮮な空気をより多く取り入れられるようにした。

◎「マークⅡ」に採用したステアリング・ロックを全車に装備して盗難防止をはかった。同時に、夜間または先を急ぐ場合にもキーの上下差し違いのないリバーシブル・タイプのマスター・キー方式を採用した。

(三) 特に安全性については「マークⅡ」に準じ一層完全なものとした

◎計器盤まわりの全周は厚いパッドで覆い、第二次衝突時の安全性を向上させた。

◎ドアのインサイド・ハンドルを埋込式にして、ドア内側の突起物を減らし、安全性を向上させた。

◎三角窓開閉のハンドルの形状を変更し、施錠・解錠がワン・タッチ式でできる構造にし、開閉が容易にできるようにした。

◎左右のヘッドランプ・ヒューズを完全別系統にし、溶損による視界ゼロから片側点灯に変えて、夜間走行時の安全性を大幅に向上させた。またヒューズ・ボックスを室内に設置し、ヒューズの交換・点検のサ

ービス性の向上をはかった。

◎高速道路、主要道路などでの走行車線の変更時にターン・シグナルランプによる合図を便利にするために、スイッチ・レバーを中間まで作動させるとランプが点滅し、手を放すとレバーが自動的にもどるターン・チェンジャー方式を採用した。

◎ターン・シグナル、テール、ストップ、バックアップの各ランプのデザインを変更し、点灯面積を大きくして、周囲・遠方からの視認性をよくし、安全性を向上させた。

(四) エンジン出力を増し、最高速度、加速性ともに向上し、ハイウェイ時代

にふさわしいエンジンとなつた（「」は従来の性能）

最大出力	七馬力／五二〇〇回転（七〇馬力／五〇〇〇回転）
最大トルク	一一・七kg・m／二八〇〇回転（一一・五kg・m／二六〇〇回転）
最高速度	一四五キロ／時（一四〇キロ／時）

[illegible]

三 ニューコロナの特長点

(一) 一新されたスタイル

ボデースタイルはトヨタのデザイン陣の総力を結集した全く新しい躍動美溢れるスタイルで、切れ味の鋭さの中にも上品で趣味の良さを感じさせる。

- 。三角窓、サイドモールのない簡潔なサイド・ビュー
- 。リヤ・クォーターに走る稲妻のような線 “サンダー・ウェーブ”
- 。彫りの深い精悍なグリル
- 。サイドに走るスポーティ・ストライプ (S Lのみ)

(二) 長距離高速ドライブ設計

一五〇〇cc、七七馬力エンジンはミリオンセラーの実績を持つ耐久性の強いエンジンであり、一六〇〇ccエンジンはマークII世界一周で実証したとおり、長距離高速走行に最適のエンジンである。コ罗纳一六〇〇デラックスは、最高速度一五五キロ、〇↓四〇〇m、一八・四秒、一六〇〇S Lは最高速度一六五キロ、〇↓四〇〇m、一七・七秒である。また、ガソリントタンク容量も四五ℓから五〇ℓに増大し、トランクルームのスペースは三〇%拡大した。

(三) 広く豪華になった室内

室内は長さで二〇ミリ、幅で一〇ミリ大きく、シート寸法も拡大して、カーブドガラスの採用とあいまって、ファミリーカーとして必要十分なスペースを確保した。シート前後移動の調整量も一六〇ミリと大きくし、シート素材にトヨタ車としては初めてのミンクタッチのニットファブリックも採用し、豪華で居住性のよいシートにした。計器類はすべて丸型とし、見やすく、スポーティなファイリングを味わえるものとした。

(四) いつそう向上した安全性

全車種、運転席助手席に三点式シートベルト、ヘッドレストの装備、脱落式インサイドミラーの採用など保安基準を上まわる安全対策を施すとともに、一部の車種には、さらに衝撃吸収ハンドル、ディスクブレーキ、防眩ミラーなどを標準装備とした。

(五) 新機構の採用

① E A T (電子制御式自動変速機)

E A Tとは、ELECTRONIC AUTOMATIC TRANSMISSION の略で、従来のトヨグライドが変速制御を油圧に依っていたのに対し、コンピューターで電子制御しトルクコンバーターを作動させる全く新しいシステムである。

コ罗纳一六〇〇デラックスに採用したのは二種類で、通常の自動変速のほかには手動も併用できるE A Tと、通常の自動変速のほかに守備範囲の広い変速パターンを併用できるE A Tスポーツタイプがある。当初は、東京、大阪、愛知、神奈川の四都府県で発売する。

② 新設計の三段ミツシヨン

騒音の低減と加速ファイリング、耐久性の大幅向上のために新設計の三段ミツシヨンを採用した。

① ブローバイガス還元装置

排出ガス中の炭化水素（HC）対策のひとつとして、未燃炭化水素を多量に含むブローバイガスを強制的に吸気系に導入し、再燃焼させて処理するブローバイガス還元装置（バルブ付）を取り付けた。この方式はブローバイガスを完全に除去するばかりでなく、エンジンオイルの劣化やエンジン内部の発錆防止にも役立つ。（ただし、一六〇〇SLを除く）

② カーステレオ

カーステレオ用のアンプを内蔵したラジオを装備しているため、少ない追加予算で任意部品のカーステレオが取り付けられ、ステレオ演奏が可能である。なお、計器盤内に組み込み用のポケットがある。一六〇〇SL車には標準装備。

四、コロナマークⅡの特長点

（一）さらに美しく、力強くなつたスタイル

好評の曲線美を基調に、フロントグリル、リヤコンビネーションランプ等の変更により、セダン系はより重厚で豪華、ハードトップ系はよりスポーティで美しいスタイルとした。なお、新しいGシリーズには、ボデーサイドに二本のグランドストライプを配し、豪華車にふさわしいものとした。

（二）パワーアップしたエンジン

① 新型一七〇〇cc、九五馬力強力エンジン

新型一七〇〇ccエンジンは、世界一周で実証した一六〇〇ccエンジンを基本として、排気量を一七〇七ccにアップ、最大出力九五馬力／五五〇〇rpm、最大トルク一四・〇mkg／三八〇〇rpmの高性能エンジンとした。なお、SL系に搭載されるエンジンは一七〇七cc最大出力一〇五馬力／六〇〇rpm、最大出力一四・五mkg／四〇〇〇rpmの高速型エンジンである。ただし、営業車は、従来の一六〇〇cc、八五馬力エンジンを搭載。

② 従来、一〇〇ccエンジンに高性能エンジンを追加

従来、一〇〇cc系には一八五八ccの八R型エンジンと高速型八RIB型、一〇R型の三シリーズがあつたが、新設計の八RID型を追加、エンジン系列は四シリーズとなつた。

③ 新型一八五八ccエンジン（八RID型）

従来の八Rエンジンを基本として、最大出力一〇〇馬力／五五〇〇rpm、最大トルク一五・〇mkg／三六〇〇rpmのエンジンでしかもレギュラーガソリンが使える経済性の高いエンジンである。パワーアップした一八五八ccエンジン（八R型、八RIB型）

従来の八Rエンジンの一部改良により、最大出力一〇五馬力／五五〇〇rpm、最大トルク一五・〇mkg／三六〇〇rpmを発揮する強力高性能エンジンである。なお、GSL系に搭載される八RIB型エンジンは最大出力一五馬力／六〇〇rpm、最大出力一五・五mkg／四〇〇〇rpmの高速型エンジンである。

コロナマークIIシリーズ主要諸元

() 4段フロア () 3速コラムトヨグライド
() 2速フロアトヨグライド () 3速フロアトヨグライド

車名	コロナマークII 1700デラックス	コロナマークII 1700SL	コロナマークII 1900デラックス	コロナマークII 1900GL	コロナマークII 1900GSL	コロナマークII 1700 ハードトップ	コロナマークII 1700ハード トップSL	コロナマークII 1900 ハードトップ	コロナマークII 1900ハード トップGL	コロナマークII 1900ハード トップGSL	コロナマークII 1900GSS	コロナマークII 1700Wゴン	コロナマークII 1700D (C)(K)	コロナマークII 1900Wゴン
車間型式	RT61 D (C)(K)	RT61-S	RT62 D(K) (N)(H)	RT62(K) (N)(H)	RT62 S(H)	RT71(K)(C)	RT71S	RT72 D (K)(H)	RT72(K)(H)	RT72 S(H)	RT72 M	RT77 D (C)(K)	RT77 D (C)(K)	RT78 D (N)(K)
●寸法・重量														
全長 mm	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,295	4,320	4,320	4,320
全幅 mm	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605	1,605
全高 mm	1,405	1,405	1,405	1,405	1,405	1,395	1,395	1,395	1,395	1,395	1,385	1,425	1,425	1,425
ホイールベース mm	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510
トレッド(前) mm	1,330(1,325)	1,325	1,325	1,325	1,325	1,330(1,325)	1,325	1,325	1,325	1,325	1,340	1,330(1,325)	1,325	1,325
トレッド(後) mm	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,325	1,320	1,320	1,320
最低地上高 mm	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	170	170	170
室内長さ mm	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	2,665	2,665	2,665
室内幅 mm	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355
室内高さ mm	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130	1,140	1,140	1,140
車両重量 kg	980(995)	1,000	995(1,005) (1,010)(1,015)	1,000(1,010) (1,015)(1,020)	1,025(1,035)	990 (995)(1,000)	1,000	1,000 (1,020)(1,010)	1,005 (1,025)(1,015)	1,030(1,040)	1,050	1,040(1,055)	1,050 (1,065)(1,065)	1,050 (1,065)(1,065)
乗車定員名	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
車両総重量 kg	1,255(1,270)	1,275	1,270(1,280) (1,285)(1,290)	1,275(1,285) (1,290)(1,295)	1,300(1,310)	1,265 (1,270)(1,275)	1,275	1,275 (1,295)(1,285)	1,280 (1,290)(1,300)	1,305(1,315)	1,325	1,315(1,330)	1,325 (1,340)(1,340)	1,325 (1,340)(1,340)
●性能														
最高速度 km/h	155	170	160	165	175(170)	155	170	160	165	175	200	150(145)	155(150)	155(150)
登坂能力 sinθ	0.53(0.55)	0.53	0.53(0.56)	0.50(0.52)	0.53	0.52(0.55)	0.54	0.53(0.56)	0.49(0.51)	0.53	0.59	0.54(0.57)	0.54 (0.54)(0.56)	0.54 (0.54)(0.56)
最小回転半径 m	4.85	4.85	4.85	4.85	4.85	4.85	4.85	4.85	4.85	4.85	4.95	4.85	4.85	4.85
●エンジン														
エンジン形式	4気筒直列上向きOHV													
内径×行程 mm	86.0×73.5	86.0×73.5	86.0×80.0	86.0×80.0	86.0×73.5	86.0×73.5	86.0×80.0	86.0×80.0	86.0×80.0	86.0×80.0	86.0×73.5	86.0×73.5	86.0×80.0	86.0×80.0
総排気量 cc	1,707	1,707	1,858	1,858	1,707	1,707	1,858	1,858	1,858	1,858	1,707	1,707	1,858	1,858
圧縮比	8.5	9.5	9.0	9.2	10.2	8.5	9.5	9.0	9.2	10.2	8.5	9.0	9.5	9.0
最高出力 PS/r.p.m.	95/5,500	105/6,000	105/5,500	105/5,500	115/6,000	95/5,500	105/6,000	100/5,500	105/5,500	115/6,000	140/6,400	95/5,500	100/5,500	100/5,500
最大トルク m·kg/r.p.m.	14.0/3,800	14.5/4,000	15.0/3,600	15.0/3,600	15.5/4,000	14.0/3,800	15.0/4,000	15.0/3,600	15.0/3,600	15.5/4,000	17.0/5,200	14.0/3,800	15.0/3,600	15.0/3,600
キャブレター	ツューバル	SUツイン	ツューバル	ツューバル	SUツイン	ツューバル	SUツイン	ツューバル	ツューバル	SUツイン	ツューバル	ツューバル	ツューバル	ツューバル
バッテリー V-A-H	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60	12-35, 45, 60
セネレーター V-A	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480	12-480
燃料タンク容量 l	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	50.5
タ イ ヤ	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45H14-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR	6.45-13-4PR

コロナバン主要諸元

() 内はディスクブレーキ付
() 内は乗車設備を最大に利用した場合

車名	スタンダード	デラックス(コラムシフト)	デラックス(フロアシフト)
車間型式	PT86V	RT86V-D	RT86V-DK
●寸法・重量			
全長 mm		4,235	
全幅 mm		1,570	
全高 mm		1,435	
ホイールベース mm		2,460	
トレッド(前) mm		1,290(1,300)	
トレッド(後) mm		1,270	
最低地上高 mm		175	
荷室(台)長さ mm		1,635(950)	
荷室幅 mm		1,255(1,235)	
荷室高さ mm		825	
床面地上高 mm		590	
車両重量 kg	970	1,005	1,015
乗車定員名		2(5)	
最大積載量 kg		500(300)	
車両総重量 kg	1,580(1,545)	1,615(1,580)	1,625(1,590)
●性能			
最高速度 km/h	125	135	135
登坂能力 sinθ	0.34	0.34	0.32
最小回転半径 m	4.9	4.9	4.9
●エンジン			
形式	4気筒直列OHV 3P型	4気筒直列OHV 2R型	
内径×行程 mm	76.6×73.0	78.0×78.0	
総排気量 cc	1,345	1,490	
圧縮比	8.3	8.3	
最高出力 PS/r.p.m.	65/5,000	77/5,200	
最大トルク kg-m/r.p.m.	10.3/3,000	11.7/2,800	
燃料タンク容量 l	50	50	
バッテリー V-A-H	12-35	12-35	
セネレーター V-A	12-40	12-40	
スターター V-KW	12-0.8	12-0.8	

●走行伝導装置			
クラッチ	乾燥単板ダイヤフラム		
トランスミッション	前進3段、後退1段 1.2.3 速オールシンクロ		前進4段、後退1段 1.2.3.4 速オールシンクロ
操作方式	ハンドルエンジン式		フロアエンジン式
変速比第1速	3.647		3.673
第2速	1.807		2.114
第3速	1.000		1.403
第4速	—		1.000
後退	4.863		4.183
減速歯車形式	ハイボイド		
減速比	4.875		4.375
ステアリング形式	ボール・リサーキュレティング式		
歯車比	19.5		
前車軸形式	ボールジョイントタイプ		
後車軸形式	半浮動		
ブレーキ(前・後)	デュオサーボ		
駐車ブレーキ形式	機械式後2輪制動		
●懸架装置			
前輪懸架方式	独立懸架コイルバネ		
後輪懸架方式	半橋円非対称板バネ		
ショックアブソーバー	油圧複動筒型(前・後)		
スタビライザー	トーションバー式		
ユニフレーム	ユニフレーム		
タイヤ	5.50-13-6P		

ニューコロナ主要諸元

() 2速コラムトヨグライド
() 3速コラムトヨグライド
() 3速フロアトヨグライド
() 4段フロアシフト

車名	コロナ1500 デラックス	コロナ1600 デラックス	コロナ1600 SL
車間型式	RT80	RT80-D(C)(D)(K)	RT82-S
●寸法・重量			
全長 mm	4,170	4,170	4,170
全幅 mm	1,570	1,570	1,570
全高 mm	1,400	1,400	1,400
ホイールベース mm	2,430	2,430	2,430
トレッド(前) mm	1,290	1,290	1,300
トレッド(後) mm	1,280	1,280	1,280
最低地上高 mm	180	180	180
室内長さ mm	1,750	1,750	1,750
室内幅 mm	1,320	1,320	1,320
室内高さ mm	1,125	1,125	1,125
車両重量 kg	905	930(940)	945(965)(955)(970)
乗車定員名	5	5	5
車両総重量 kg	1,180	1,205(1,215)	1,220(1240)(1200)(1245)
●性能			
最高速度 km/h	145	145	155((150))
登坂能力 sinθ	0.41	0.40(0.42)	0.42(0.44)
最小回転半径 m	4.8	4.8	4.8
●エンジン			
総排気量 cc	1,490	1,490	1,591
最高出力 PS/r.p.m.	77/5,200	77/5,200	85/5,500
最大トルク m·kg/r.p.m.	11.0/2,800	11.0/2,800	12.5/3,800
燃料タンク容量 l	50	50	50
●走行伝導装置			
変速比第1速	3.337	3.337(1,820)(3,673)	3.337(2,400)(3,673)
第2速	1.653	1.653(1,000)(2,114)	1.653(1,475)(2,114)
第3速	1.000	1.000(—)(1,403)	1.000(1,000)(1,403)
第4速	—	—(—)(1,000)	—(—)(1,000)
後退	4.449	4.449(1,820)(4,183)	4.449(1,920)(4,183)
減速比	4.111	4.111	4.111
ブレーキ(前)	デュオサーボ	デュオサーボ	デュオサーボ
ブレーキ(後)	—	—	—
タ イ ヤ	5.60-13-4 P	5.60-13-4 P	5.60-13-4 P